

読んだ本

(吉祥瑞枝／監修 横馬場リョウ／漫画 蛭海隆志／シナリオ) 集英社

「マリー・キュリー ノーベル賞を二回受賞した女性科学者」

カリタス小学校四年 江原 えはら 愛 あい

マリー・キュリーの一生

私が読んだ本は「マリー・キュリー」です。
この本のあらすじは、ノーベル賞を二回受賞
した女性マリー・キュリーの一生をマンガで
分かりやすく説明してある本です。この本を
読んでいると自然に科学にきょうみを持てる
本で読んでいたら時間をわすれてずっと読ん
でいられます。

一番きょうみを持った所は、マリー・キュ
リーの夫のピエールが言った「女性でこんな
に科学の話が通じる人がいるなんて!!」と、
「きみこそ天才だ・・・」ぼくは科学を理解し
てくれる女性なんていないと思っていた・・・
「」です。今では女性科学者もふえています
がマリーの生きている時代には女性の科学者
が少しもいないということ。本当は昔の数少
ない内の一人だったんだと感じました。私は
今の時代に女性科学者がいなくて自分だけ科
学者になりたいと思っただけでもゆう気が出な
くてゆめをあきらめてしまいかもしれません。
でも、マリーは女性科学者としての人生を大
切にして二度もノーベル賞を受賞するという
すばらしい栄よを得ました。私もしょうらい
ゆう気を出すということを目標にしてこれか
らの人生をすごしたいです。